

雇用、教育、コミュニティ の新たな3Kで **地域活性化**



講師 (株) テイコク **野崎 敏彦** 氏

私は地方財政の一分野である新公会計から行政に関与して7年が経過し、地域活性化には、新たな3K（雇用、教育、コミュニティ）が必要であると思うに至りました。

「公（おおやけ）」を担うものとして住民、行政及び企業がそれぞれ歩み寄れる状況にはなっておりますが、第一歩をどこに踏み出すかの途惑いもあります。

今回、地方財政の現状、成功・失敗事例にみる地域活性化の本質および新たな3Kによる地域活性化の展望をお話し致します。

新公会計とは

新公会計とは、地方自治体で行われている単式簿記会計に民間企業並みの複式簿記会計を導入すること。
現行の単式簿記会計では、自治体の財産がどれだけあって借金がどれだけあるか正確にわからない。（何がどこにあるか、どのようにになっているか、何にどれだけ使われているかわからない。）

新公会計の目的

- ①資産・債務の正確な把握
- ②コストの正確な把握（減価償却費、退職給付引当金等）
- ③説明責任の履行（わかりやすい情報の提供）

◆ 講師プロフィール ◆

システムアナリスト・特種（経済産業省情報処理技術者）、中小企業診断士、ファシリティマネージャー。
北海道大学理学部数学科卒業後沖電気工業（株）西川コミュニケーションズ、葵総合経営センターを経て2012年株式会社テイコク入社。

○市町村・公会計制度導入支援業務の実績

各務原市、高浜市、蒲郡市、知立市、弥富市、吉良町、幸田町、蟹江町等多数

日 時：4月18日（木）開 場 18：30

会 場：勝川駅前 スペースパレット 19：00～21：00

会 費：500 円 懇親会：会費 4,000 円程度

かちがわ大學 HP からお申込下さい。

かちがわ大学

検 索



お申込・お問い合わせはメールフォームからお願いします。

お申込回数欄には**第 65 回**とお書き下さい。

協力：N-1 村